はじめに

Cerberus Enterpriseは、 Androidおよび Appleデバイスの保護と管理を支援するために設計された包括的な EMMソリューションです。 BYOD
および会社所有デバイスを効果的に管理するための適切な機能を備え、クリーンで使いやすいダッシュボー
ドで数分ですぐに始められます。

Cerberus Enterprise
を効果的に使用するには、システムの仕組みに関するいくつかの主要な概念を理解する必要があります。

このシステムは、 AndroidとAppleの両方のデバイス管理をサポートしています：

Androidでは、 Cerberus EnterpriseはGoogleの公式 Android Management APIを使用し、 Android Device

Policyアプリ（ ADP）を通じてデバイスを管理します。ほとんどの設定は ADP
によって直接適用されます。一部のオプション機能では、 ADPだけでは実現できない機能を拡張する
Cerberus Enterpriseコンパニオンアプリも必要になる場合があります。

Apple デバイス（ iPhone、iPad、Mac）では、 Cerberus Enterprise は Apple MDM（Mobile Device
Management）を通じてデバイスを管理します。 Apple の管理には APNs
証明書が必要で、自動登録とアプリのライセンス管理のために Apple Business と任意で連携できます。 iOS または iPadOS 18.4 以降の iPhone と iPad では、 Cerberus は Cerberus Enterprise
コンパニオンアプリもインストールし、このアプリがデバイスの位置情報を共有して通知を受信します。

各デバイスは 登録 でき、 登録トークン または 登録プロファイル （Apple

の手動登録）を使用します。登録方法は、デバイスに適用するルールを含む ポリシー に関連付けられます。

IT
管理者は、登録後にデバイスに関連付けられたポリシーを変更できます。ただし、各デバイスは一度
に 1つのポリシーにのみ関連付けることができます。

登録（プロビジョニング）プロセス中に、必要な管理コンポーネントが自動的にインストールおよび構成さ
れます。 Androidでは、通常、 Android Device Policyアプリ（および構成によっては Cerberus Enterprise コンパニオンアプリ）が含まれます。 Appleデバイスでは、デバイスの登録後に MDM
を通じて管理が適用され、 iPhoneおよび iPadには Cerberus Enterprise
コンパニオンアプリがインストールされます（これには Apple Businessライブラリ内の無料アプリと Apps and Books
トークンが必要です）。その結果、対応するポリシーがデバイスに自動的に適用され、関連するすべてのル
ールがプラットフォーム管理システムによって適用されます。

1
つのポリシーを多数のデバイスに適用できます。その場合、ポリシーを変更すると、関連付けられた
すべてのデバイスに変更が反映されます。

Revision #65
Created 2025-12-17 10:39:30 UTC by Admin
Updated 2026-11-12 09:55:40 UTC by Admin